

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/23 第26号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

防災の日

1月17日（木）は、防災の日でした。防災に日は、阪神・淡路大震災を受けて定められました。1995年1月17日の午前5時46分に阪神・淡路大震災は起こりました。京都でも大きな揺れを感じました。大きな揺れにびっくりして起きた後、隣で寝ていた6歳と3歳の息子におおいかぶさったことを覚えています。その後、夜が明けて、空からの映像がテレビで流されるとそこには信じがたい光景が写っていました。あちこちで倒壊した家屋、街のいたる所からあがる火の手、横倒しになった高速道路と見慣れた神戸の街が変わり果てていたのです。この時、「あたりまえと思っていたことは、実はあたりまえではない」ことを実感しました。犠牲者が6400名を超える未曾有な災害でした。それから24年がたち、現在の神戸市民の半数以上が阪神・淡路大震災を知らないということです。記憶の風化が心配されています。風化させないためにも語り継ぎ、防災の意識を高めていかなければなりません。昨年は、6月に大阪北部地震、9月に北海道胆振東部地震と相次いで起こり、大きな被害を受けました。いつ、どこで大きな地震が起きるかわからないのです。

1月18日（金）に地震を想定した避難訓練を行いました。全校生徒がグラウンドに避難して、消防署の方から、もし地震がおきればどうすればいいのかなど講評をいただきました。今回の経験をいざという時に役立ててほしいです。中学生は、災害が起きた時は「助けてもらう側」だけでなく「助ける側」にもなることが期待されています。地域の住民の皆さんからも期待する声が寄せられています。また、「自分の命は自分で守る」意識をもつことや非常食・飲み水の準備、家族で避難場所の確認をするなど日頃から防災の意識を高めていくことが大切です。ご家庭でも防災について話題にいただき、親子で話し合ってもらえることを願っています。

3年生は学年末テスト

3年生の学年末テストが、1月23日（水）から始まりました。3年生にとって中学校生活最後の定期テストです。満足いく結果を残そうと準備を進めてきたと思いますが、学習の成果をしっかりと発揮して有終の美を飾ってください。各教室をまわりましたが、どの教室でも3年生の皆さんは、真剣な表情で解答していました。鉛筆を走らせる音だけが教室に響いていました。

3年生は、学年末テストが終わると入試本番を迎えます。私立高校入試、公立前期選抜そして公立中期選抜と続きます。以前にも話しましたが、入試は団体戦です。不安な気持ちを誰もがもっています。不安な気持ちを払拭するためにはクラス、学年の団結力がが必要です。クラス、学年の気持ちを一つにして大きな壁を乗り越えてくれることを願っています。そして、「春」をつかみとってください。1年生、2年生の生徒と教職員は3年生の健闘を応援しています。

インフルエンザが流行しています。規則正しい生活を送って、体調管理も忘れないでください。

